資料６－２

阿武隈川上流遊水地群地内利活用検討会　第３回検討会

ＶＲツールの作成について

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

VRツールの作成について

VRとは

VRは「Virtual Reality」仮想現実の略で、現実にない世界又は体験しがたい状況をCGによって仮想空間上に作り出す技術。

阿武隈川上流遊水地群のVRツールの作成

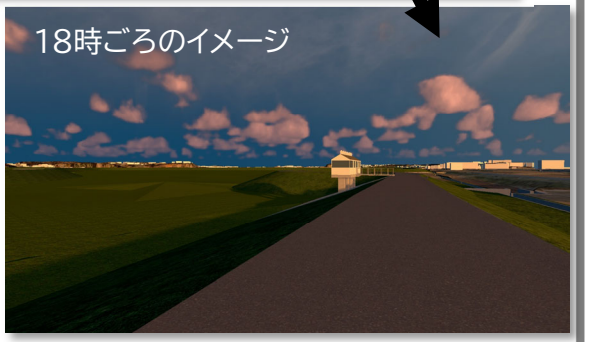
阿武隈川上流遊水地群の地内利活用検討に向けて、完成イメージ（規模や高さ関係）を共有するために作成。

【作成イメージ】



①俯瞰的な視点にて、オブジェクト（人、車）を配置して遊水地の規模感を把握するイメージ
（第一遊水地から阿武隈川を見る・新成竜橋付近）





②歩行者視点にて、時間帯（朝・夕方）を変化させて、見え方の比較を行うイメージ
（水郡線沿い堤防天端から第二遊水地を見る）

【VRツールでできること】現時点版

- 歩行者や車のドライバーの視点、鳥瞰的な視点から任意の場所を見ることが可能（360度見回すことが可能）
- 朝・日中・夕方・夜といった時間帯や天気を変化させることで、見え方の違いを体験することが可能
- 遊水地内に、人物、樹木、建物などを自由に配置して、規模感を確認することが可能

VRツールの作成について

VRツールの活用方法

今後、以下の2パターンでの活用方法を検討している。

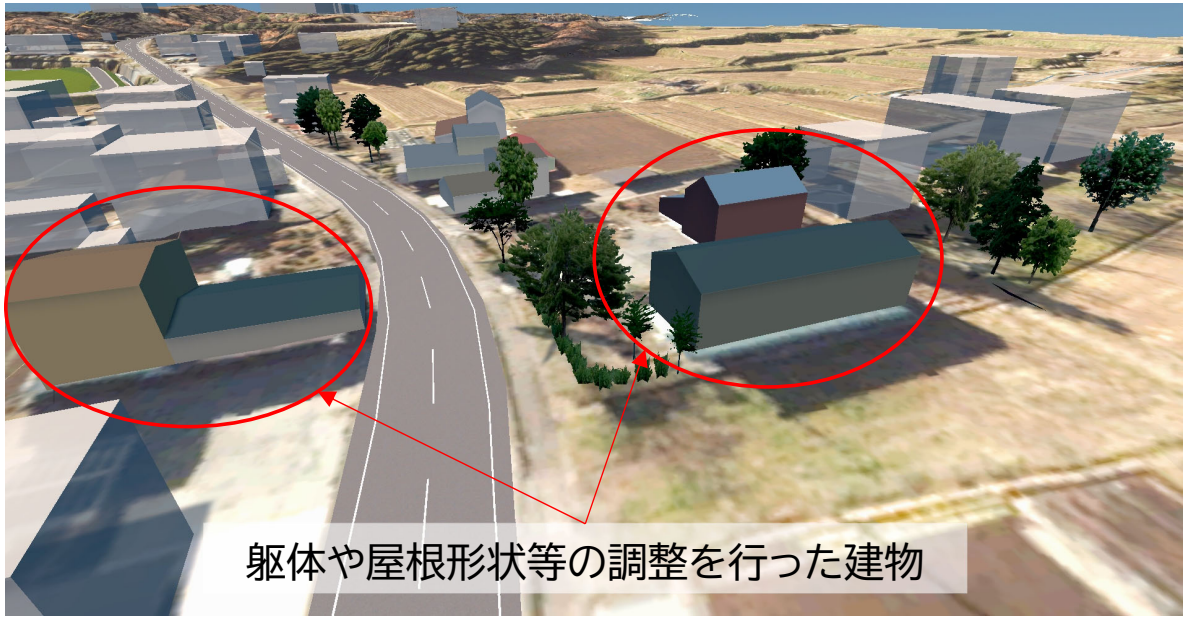
- 上流遊水地群における活動に関するヒアリング時
- 令和8年度以降の作業部会（第7回～以降での活用を想定）

→上記により、地域住民、遊水地周辺の関係団体、企業との遊水地の利活用にあたってのイメージ・条件等の共有とこれによる利活用の検討の円滑化に寄与すると期待。

VRツールの改良（案）

作業部会等での意見を踏まえて、改良を加えていく。（精緻化の実施）

- **遊水地内**：農地やソーラーパネル、公園など作業部会の中で出された利活用メニューについて、遊水地内に配置できる添景を用意する。
- **遊水地外**：遊水地回りの建物の精緻化する（右図のような対応）。



VR精緻化イメージ（鳥瞰視点）